

教科名 科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
工業科	2	1年 システム工学科		工業情報数理 (実教出版)	
工業情報数理					

学習目標	<p>社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解する。          情報技術に関する知識と技術を習得する。          工業の各分野において情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を身につける。</p>
評価の 観点・規準	<p>「知識・技能」          情報技術に関する基礎的な知識と技術を理解している。          情報技術を利用した情報の収集・処理・活用のために必要な技能を身につけている。</p>
	<p>「思考・判断・表現」          課題の解決を目指して自ら思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身につけている。          情報技術を活用して、情報を処理・表現することができる。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」          情報技術に関する基礎的な知識と技術に関心をもっている。          知識と技術の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする実践的な態度を身につけている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」          定期考査や小テストでの基本的な知識問題で評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」          定期考査での応用問題、実技テスト、提出物で評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」          定期考査や実技テスト、小テストを含めた学習、提出物への取組状況で評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>産業社会と情報技術          情報社会の在り方、情報モラル、情報セキュリティについて主に学習する。          そのなかで工業事象を題材とした演習として、電子計算機での数理処理を学ぶ。          現代の情報社会において、身近な例を示し、情報を適切に処理する技術と方法を学ぶ。          中間考査、小テスト、提出物を実施し、基本的な知識問題を問う。</p> <hr/> <p>コンピュータシステム          ハードウェア、ソフトウェア、情報通信ネットワークについて主に学習する。          コンピュータの構造や周辺機器を理解し、ソフトウェアの分類とオペレーティングシステムの目的および基本操作について学習する。          期末考査、小テスト、提出物を実施し、評価をおこなう。</p>
2 学期	<p>プログラミングと工業に関する事象の数理処理          アルゴリズムの構造を学習する。また、工業に関わる事象を扱い、単位換算についても演習する。          そのなかで、工業系の資格取得に向けての意欲を高められるようにする。          中間考査、小テスト、提出物を実施し、評価をおこなう。</p> <hr/> <p>プログラミングとコンピュータの基本操作          これまでの学習を通して習得した知識、技術を活用し、コンピュータを実際にあつかう。          プログラミングでは、BASICとCの特徴を学習する。          期末考査、実技テスト、小テスト、提出物を実施し、評価をおこなう。</p>
3 学期	<p>プログラミングとコンピュータの基本操作、工業事象の数理処理          アプリケーションソフトウェアの特徴を理解させ、実際に使用できるようにする。          プログラミングでは、配列の宣言や使用方法について理解させ、工業系の資格取得につなげていく。          工業事象の数理処理の基本、応用問題をおこなう。          学年末考査、実技テスト、小テスト、提出物を実施し、評価をおこなう。</p>

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--